

わたなべニュース

2019. 3. 10 vol. 102

発行元：社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部
TEL：0798(74)2630 FAX：0798(74)7257
ホームページ：http://www.n-watanabe-hosp.jp/

連携強化の一拠点を目指して！

～西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院ご紹介～



西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院
院長 庄盛 由紀夫

平成 29 年 11 月からクリニックとして診療を行っていた「西宮わたなべ前浜クリニック」は昨年（平成 30 年）6 月より「西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院」の外來部門として再出発をしています。西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院の外來は循環器内科は西宮渡辺心臓脳・血管センターの山室院長以下同科のスタッフが、脳神経外科は庄盛が担当し、一般内科と糖尿病内科は糖尿病専門医の小谷先生、整形外科は西宮渡辺病院の福永先生、皮膚科は牧之段先生と内村先生が担当しています。平成 31 年 2 月からはリハビリ専門医の井口先生がボトックス外來・装具外來を開始し、充実した外來医療を提供できる回復期リハビリテーション病院となりました。



西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院は、主に脳卒中急性期治療後の入院リハビリを行う 26 床の回復期リハビリテーション専門病院です。西宮渡辺心臓脳・血管センターとの連携を緊密にするため、スタッフは週 1 回の同院での IPW(多職種連携)カンファレンスに参加し、患者様の情報共有を行い、継続した医療体制の維持に努めています。直接患者様とも連絡をとり、安心して当院に入院していただけるよう配慮しています。また近隣の病院からも回復期リハビリ適応患者様を御紹介いただいております。

入院後、スタッフと患者家族様とで定期的にカンファレンスを行い、各職種による評価、問題点の整理、リハビリテーション計画、ゴールの設定などについて話し合っています。患者様の症状に応じて理学療法、作業療法、言語聴覚療法をおこない、病棟でも練習を重ねながら、退院、退院後の生活を見据えて入院生活を進めていきます。

地域の皆様からのご支援をいただけますよう、地域医療に貢献していく所存でございますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

☆ 下記の曜日で一般外來を行っております！

	月	火	水	木	金	土	
午前 受付時間 (8:30~11:30) 診療時間 (9:00~12:00)	(1診)	山室 (循環器内科)	山室 (循環器内科)	井口 (ボトックス外來) ★完全予約制	斉藤 (循環器内科)	井口 (リハビリ)	斉藤 (循環器内科)
	(2診)	小谷 (糖内科)	庄盛 (脳外)	小谷 (糖内科)	×	庄盛 (脳外)	×
	リハビリ科	リハビリ	リハビリ	×	リハビリ	リハビリ	リハビリ
皮膚科 美容皮膚科	牧之段	内村	牧之段	牧之段	牧之段	内村	
午後 受付時間 (13:45~16:30) 診療時間 (14:00~17:00)	(1診)	×	井口 (装具外來) ★完全予約制	×	斉藤 (循環器内科) 受付：13:00~15:30 診察：13:00~16:00	×	×
	(2診)	小谷 (糖内科)	福永 (整形外科) 受付：13:30~15:30 診察：13:30~16:00	小谷 (糖内科)	×	×	×
	皮膚科 美容皮膚科	牧之段	内村	牧之段	牧之段	牧之段	内村

※お問合せ・ご予約※

代表
TEL：0798-39-0188
FAX：0798-39-0189

内科・外科
TEL：0798-39-0255
FAX：0798-39-0256

皮膚科
TEL：0798-39-0215
FAX：0798-39-0216

〒662-0931
兵庫県西宮市前浜町 4-3

新任医師紹介



西宮渡辺病院 消化器内科 高野 真美 先生

消化器内視鏡の検査・治療を中心に消化器全般の診療をしています。

気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。



西宮渡辺病院 放射線科 赤井 幹夫 先生

平成31年2月から西宮渡辺病院放射線科で勤務することとなりました。

患者様と接する機会はあまりないと思いますが、各診療科から依頼された画像を通して、みなさまの苦痛の原因を早期に診断し、治療につながる助けとなるよう努めていきたいと思

っています。よろしくお願い申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 循環器内科医長 岡本 匡史 先生

大阪、京都の病院での勤務を経て、この度西宮へ赴任して参りました。今まで培った経験を活かして、当地域の循環器診療に貢献できるよう精進して参ります。

～ 患者様からのご意見・お言葉 ～

西宮渡辺病院では、ご意見箱を設置しており、入院患者様から様々なご意見をいただいております。そちらを参考に、改善した点をいくつか紹介させていただきます。

- ・入院中は体力が減少するので、栄養のある食事が食べたいです。
- ・食材のコストダウンのためか、食材の傷み、米の古さ、同食材の使いまわしがひどかった。朝食の貧弱さが目立った。

⇒食事について見直し、業者を変更して改善しました。

- ・身体を休める為に入院しているのに、工事ばかりで気が休まらない。

⇒工事中は大変ご迷惑をおかけしました。トイレの改修は完了し、使って頂きやすくなりました。



貴重なご意見
お言葉を
ありがとうございます

また、退院された患者様からお礼のお手紙もいただきました。
(記事の都合上、一部割愛させていただいております。)

に=西か東か一刻も早く走る救急車

し=知ってびっくり 足骨折

の=のんびり出来ず、家族を一変

み=見守る看護師さん ナースコールは患者の命綱

や=やってよかったリハビリ リハビリ先生に感謝

わ=渡辺病院 看護師さんは患者の人気もの

笑顔が患者の心を軽くする

「私の手を持って立ってごらん」

院長先生の手の温もりは患者の薬

た=食べない私は食べたふりをする

な=「何でも食べないと寝たきりになるよ

一日一回の点滴が一日二回になったよ

看護師さんと患者二人合わせて縄となる

べ=勉強 命ある限り何事も勉強と教えてくれた

病院=病室から眺める甲山 夕焼け雲の美しかった事

入院のお陰で人生ふり返って見る時間を頂いた

ようです。

(西宮渡辺病院 総務課 溝淵李呼)

人工関節友の会を開催致します！

人工関節友の会は人工関節手術を受けられた方をはじめ、膝や股関節の痛みにお悩みの方々の集まりです。同じ悩みを持つ人同士、あるいは退院後しばらく振りの先生やスタッフとのコミュニケーションの機会として、皆様様が日常生活の問題を解決され、心豊かな生活が送れますよう微力ながら支援させていただきたいと思っております。

【日時】5/25（土）14：00～ 【場所】西宮商工会議所 ※詳細は追ってご連絡致します！

お問合せ TEL：0798-74-1771



福祉の郷で節分！！



まだまだ寒い日が続きますが、暦の上では春を迎えハートケア西宮わたなべ福祉の郷でも二月に節分行事を行いました。

豆まきには「邪気」や「病気」を払うと言った謂れがあり、「鬼は外！」との掛け声とともに風船で作った鬼めがけてお手玉を投げてもらいました。ご利用者様には2グループに分かれ点数を競って楽しんでいただき優秀者にはささやかですが職員手作りのプレゼントをさせて頂きました。

これからも、季節感のある行事を皆様で楽しんでいただけるように計画していきたいと思っております。

(ハートケア西宮わたなべ 相談員 登川健太)



■ 部署紹介 ■ 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 「リハビリテーション科」

【入院リハ】

当院は、回復期リハビリテーション病棟26床を有し、急性期治療を終えられた脳血管疾患等の患者様を中心に、在宅復帰に向けてのリハビリを提供しています。院長庄盛由紀夫医師、リハビリテーション専門医の井口智恵医師の下、リハスタッフ13名が看護師と連携を図りながら自宅退院を目指します。

【外来リハビリテーション】

☆脳卒中リハビリテーション

急性期病院または回復期リハビリテーション病棟を退院された患者様で、退院後の自宅生活の活動状況および動作確認、更に獲得した動作の継続を目的に1～3か月間リハビリを提供します。

☆心臓リハビリテーション

心臓の病気で急性期治療を終えられた方で、体力の向上と再発予防を目的に有酸素運動と筋力強化練習を実施しています。リハビリスタッフが個々に合わせた運動量の調整を行い、看護師による問診で日々の生活状況を聞きとります。心電図・血圧を確認しながら安全な心臓リハビリを提供します。

【特殊外来】

脳卒中の後遺症の一つに、筋肉の緊張が高すぎることによる関節のこわばりや筋肉が無意識に動いてしまう痙縮という症状が認められます。これらは、関節の拘縮（固くなる）や日常生活動作の阻害因子となりえ、治療の対象となります。

一方、痙縮の残存による歩行障害や手足の関節拘縮に対し、装具を利用することで機能の補助・関節の矯正などが可能となる場合があります。

これらを治療することで日常生活を過ごしやすくしていくことを目的に、当院では痙縮に対する治療として「ボトックス外来」、装具の作成や修理、相談として「装具外来」を開始しました。

完全予約制となっておりますので、まずは電話にてご相談ください。

【外来診療のご案内】

当院外来診療部門では、外来リハビリテーション、特殊外来以外にも循環器内科・糖尿病内科・内科・脳神経外科・整形外科・皮膚科の外来診療も行っています。

風邪や気になる症状でお困りの際は、当院へお越しく下さい。詳しくは、ホームページまたは電話にてお問い合わせください。

(西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 リハビリテーション科 技師長 塩田智之)



すいすい健康講座 2月開催報告

 2月【開催場所：西宮渡辺病院】

2月の講座は西宮渡辺病院 消化器外科 奥田豊一先生による『訪問診療、はじめました』でした。

私たち西宮渡辺病院では昨年2018年より訪問診療を開始しております。

地域病院では、高齢者の増加に伴い社会的入院や終末期ケアのための入院患者が増加、それによる病床数の不足、在院日数の長期化による病院経営の悪化などの問題を抱えています。一方、入院もしくは通院できない患者では病状の把握が困難となり増悪や重症化してから受診するという事態に陥っています。

このような課題に対応するために地域全体での在宅ケアとしての取り組みが進められており、その一役を担うのが訪問診療です。訪問診療は、患者宅を訪問して行う医療ですが、患者の要望に応じて訪問する往診とは異なり、計画的な医学管理のもと定期的に訪問して行います。

医療機関の所在地から直線距離で16km圏内の自宅や介護施設などで在宅療養を行っていますが、疾病、傷病のため通院による療養が困難な患者に訪問診療ができます。

訪問診療では、生活状態の問診、身体診察、バイタルサインの測定、薬剤の処方や静脈注射、血液・尿検査、さらに居宅への訪問でしかできない生活環境のチェックなどを行います。大規模な医療機器の必要なレントゲン・CT検査や内視鏡検査、専門的な分野での診察、急変時には病院・医院を受診していただく必要があります。

訪問診療をはじめるとは、まず本人・家族に主治医（かかりつけ医）に相談いただきます。その上で主治医による診療情報提供書、依頼書の作成と並行して、本人・家族は担当者（当院では地域連絡室）との面談で説明を受け、それらの情報をもとに訪問担当医が在宅医療計画書を作成します。馴染みの薄い診療形態ですので、まずはご相談を。

お問合せ TEL：0798-36-1884

センター市民健康講座 1月開催報告

 1月【開催場所：西宮渡辺心臓脳・血管センター】

1月の講座は西宮渡辺心臓脳・血管センター センター長 民田浩一先生による『心不全を知って予防する』でした。

2017年厚生労働省記者会見において「心不全とは心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。」と定義されています。心不全は、すべての心臓病の終末像であり、その機能障害によりいろいろな症状が出現し、日常生活の質が大きく低下します。心筋梗塞の他にも弁膜症や高血圧によって心臓に負担がかかると最終的には心不全を発症します。

心不全ステージという分類があり、現在では心不全症状のない高血圧、糖尿病、肥満等の生活習慣病はすでに心不全の初期段階（ステージⅠ）と考えて長期的な視野に立って心不全の予防が重要であるとされています。

心不全による数々の症状が出現し、入院を要する心不全の最大の原因は慢性心不全急性増悪による再入院です。心不全再入院を繰り返すごとに治療は困難となり、生活の質は低下し、生命予後は不良となります。慢性心不全患者は高齢者から多く発症し再発率も高いため、我が国では、年々患者数が増加傾向にあります。

慢性心不全は日常生活とも密接に関連した病気であり、内服以外にも、減塩を中心とした食事療法、運動療法などの継続的な疾病管理が非常に重要です。また、高齢者が多いため、合併疾患も持たれていることが多いことから訪問看護などを含めた生活の支援も重要となります。このように心不全という病気の管理には多面的な支援・介入が必要です。

当院では、心臓リハビリスタッフ、慢性心不全認定看護師、病棟看護師、訪問看護師、管理栄養士、薬剤師、心理士、臨床工学技士、ソーシャルワーカー、循環器専門医から形成される多職種による横断的な心不全チームがあります。心不全再入院をできるだけ防ぐために活動しており、さらに訪問看護ステーションやリハビリクリニックなど地域と連携しています。

法人関連施設

●社会医療法人 渡邊高記念会 ●西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問看護介護わたなべグループホームむろかわ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーションむろかわ / 居宅介護センターむろかわ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション

●社会福祉法人 高明会 ●シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえばま / 居宅介護支援センターはまかせ



わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。
※ 当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集